

2004年3月期

# 決算説明会



2004年 4月 30日

株式会社 CRCソリューションズ

1. 2004年3月期 決算概要
2. 2005年3月期の見通し

# 1. 2004年3月期 決算概要

# 2004年3月期決算の概要(連結)

(単位:百万円、%)

<連結>	03/03	百分比	04/03	百分比	前期比	期初計画
売上高	53,048	100.0	55,028	100.0	3.7	54,200
売上総利益	9,466	17.8	9,166	16.7	3.2	9,600
営業利益	3,743	7.0	3,447	6.3	7.9	3,870
経常利益	3,863	7.3	3,716	6.8	3.8	4,000
当期純利益	1,975	3.8	2,186	4.0	10.7	2,200
受注高	51,861		56,096		8.2	
受注残	4,623		5,690		23.1	

# 2004年3月期決算の概要(連結)

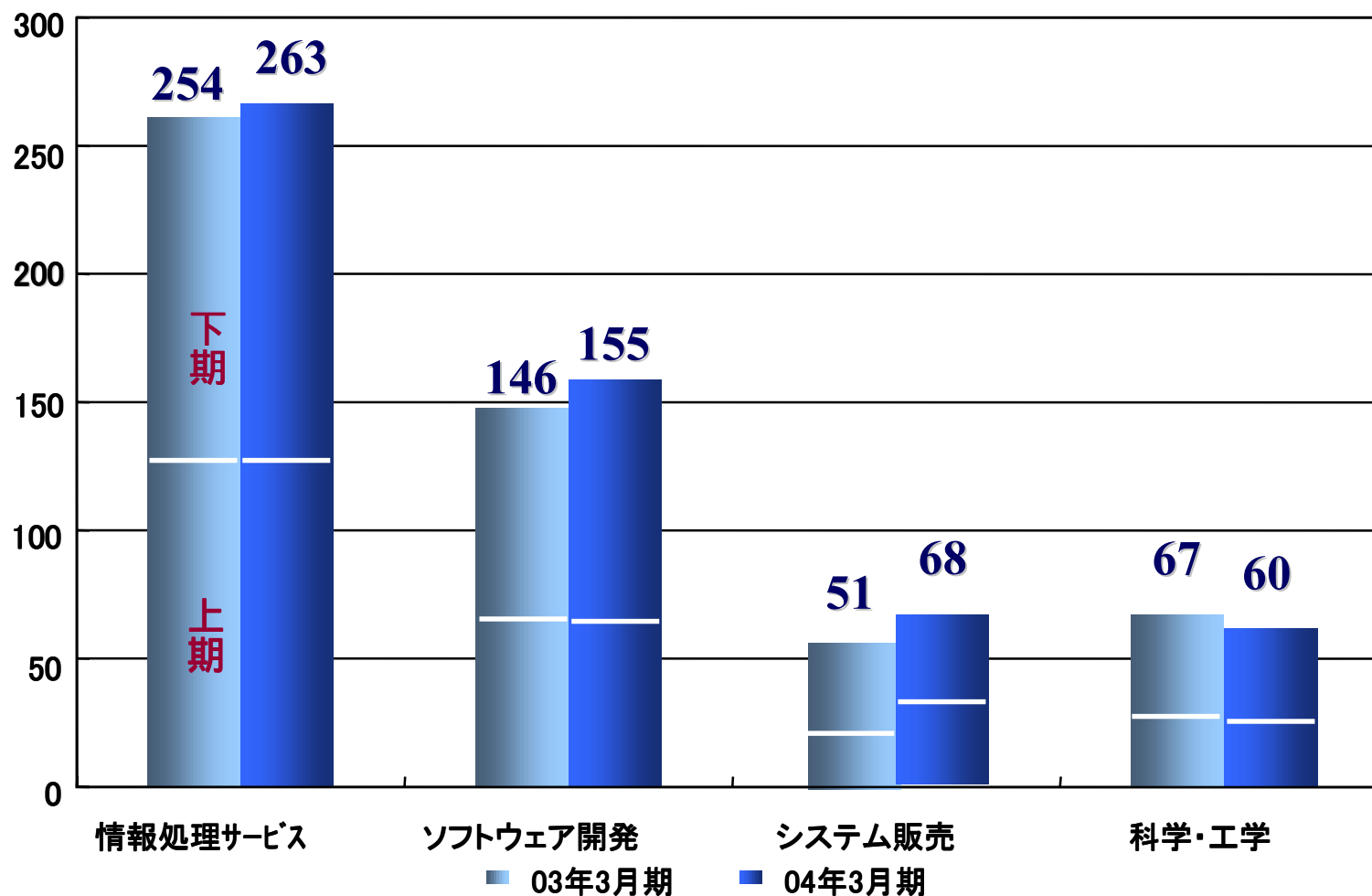
## 特別損益の内訳

単位:百万円

○ 退職年金制度変更に伴う損益		1,456
厚生年金基金代行返上益	1,892	
401K移行に伴う積立不足穴埋め (退職給付一部終了損)	△436	
○ 横浜コンピュータセンター体質改善策 (リース契約解約損)		△ 355
○ 独身社員寮(固定資産評価損)		△ 300
○ 人材活性化策(割増退職金)		△ 269
○ 投資有価証券評価損		△ 251
○ 投資有価証券売却益		31
○ その他		167
		<hr/>
		145

# 事業別売上高(連結)の前期比

(億円)



ビジネス系事業

サイエンス系事業

# 売上高(連結)増減要因

## ◆情報処理サービス 263億円 (前期比+9億円)

- アサヒビジネスソリューションズ株式会社連結子会社化による売上増
- インターネット系データセンター業務の売上増加
- ホスト系情報処理サービスの減少

## ◆ソフトウェア開発 155億円 (前期比+9億円)

- アサヒビジネスソリューションズ株式会社連結子会社化による売上増
- 食品関連システム開発の増加
- セキュリティ関連システム等開発案件の増加
- 大手商社向け開発案件一巡による減少

# 売上高(連結)増減要因

## ◆システム販売 68億円 (前期比+17億円)

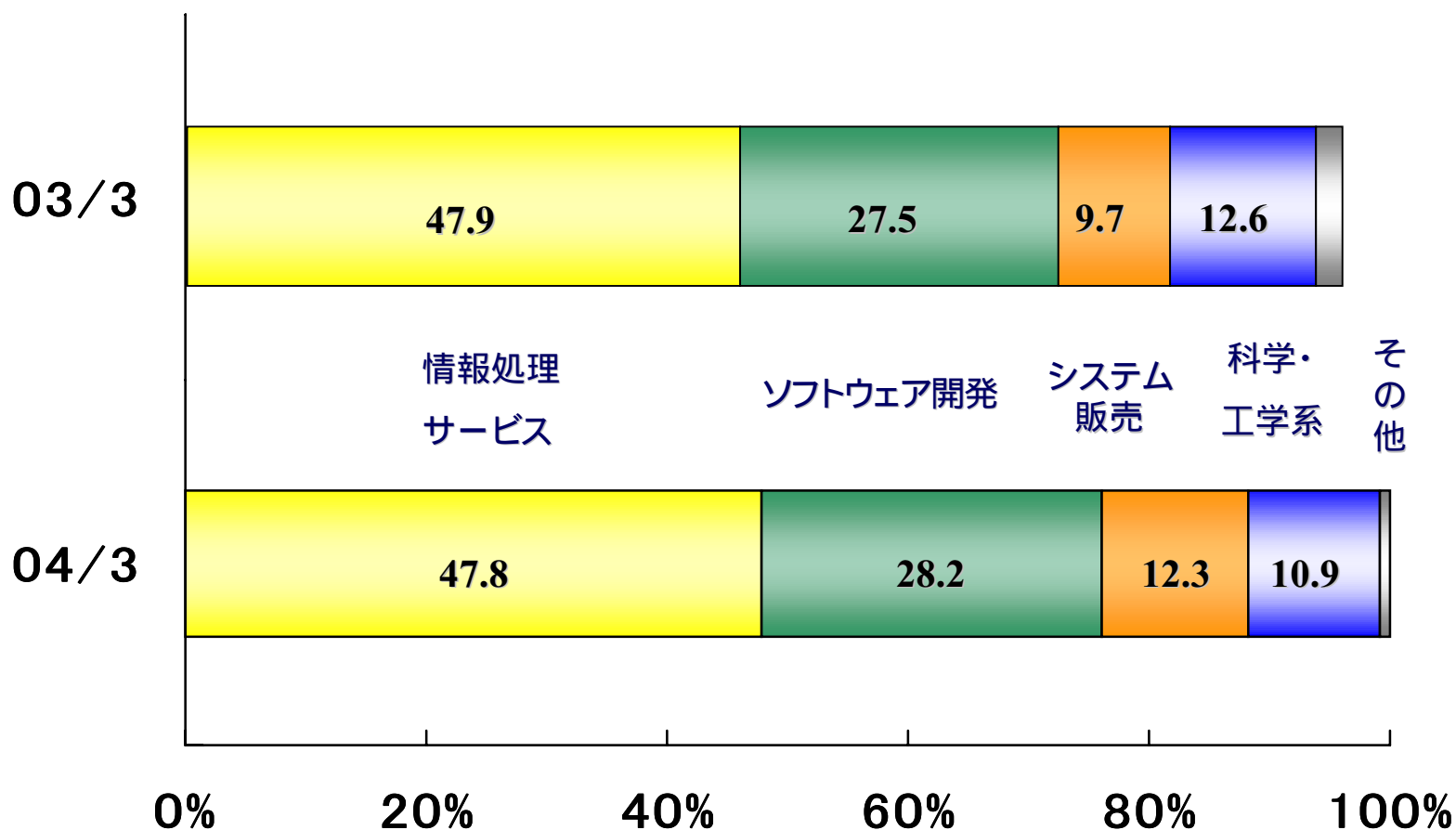
- アサヒビジネスソリューションズ株式会社連結子会社化による売上増
- 食品関連ハードウェア販売増加
- リースバック取引会計処理基準変更による減少

## ◆科学・工学系 60億円 (前期比△7億円)

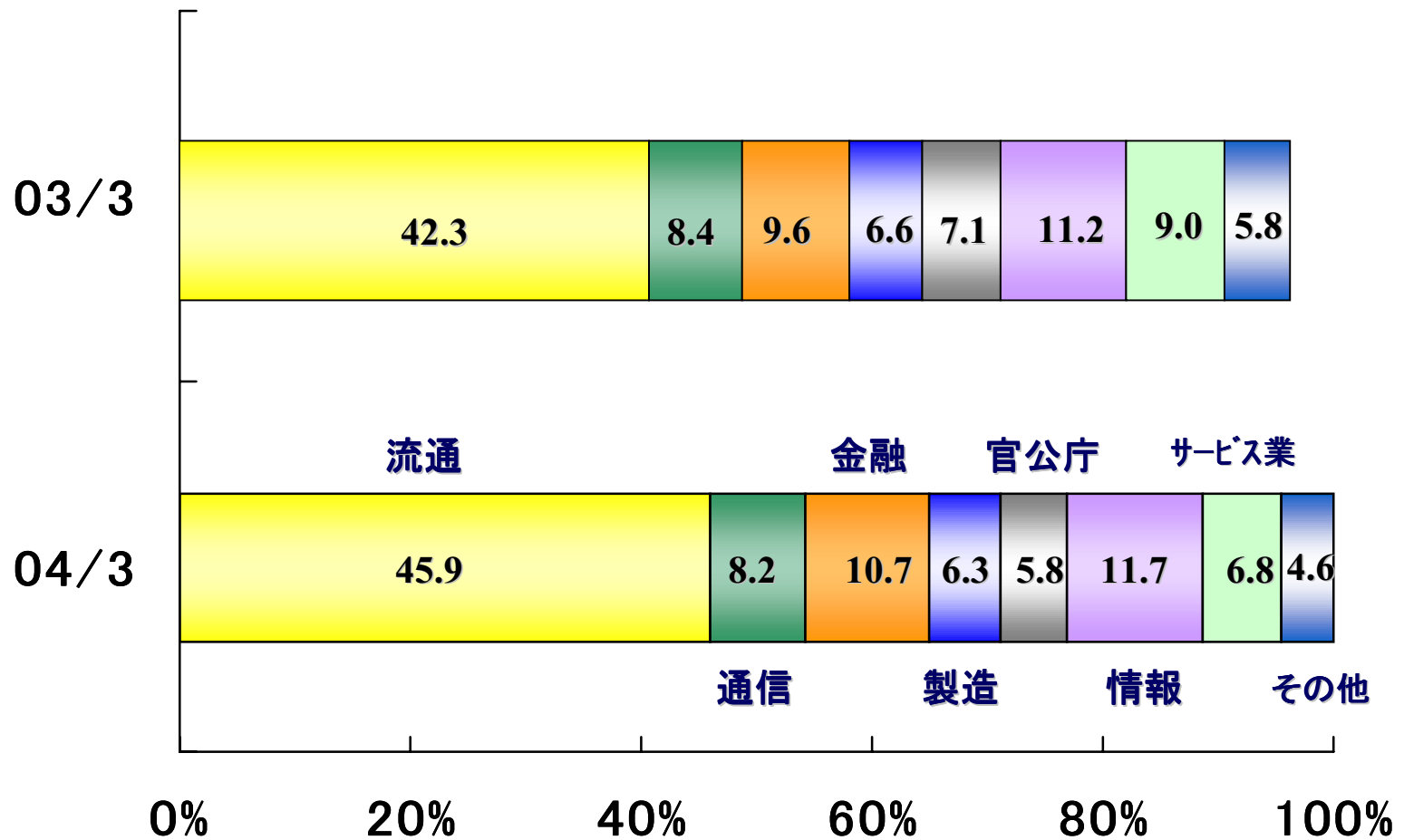
- 大型ハードウェア・スポット販売の減少
- 製造系、防災関連、原子力関連ソフトウェア販売減少
- 耐震衝撃解析の増加



# 事業別売上高(連結)の構成比



# 業種別売上高(連結)の構成比

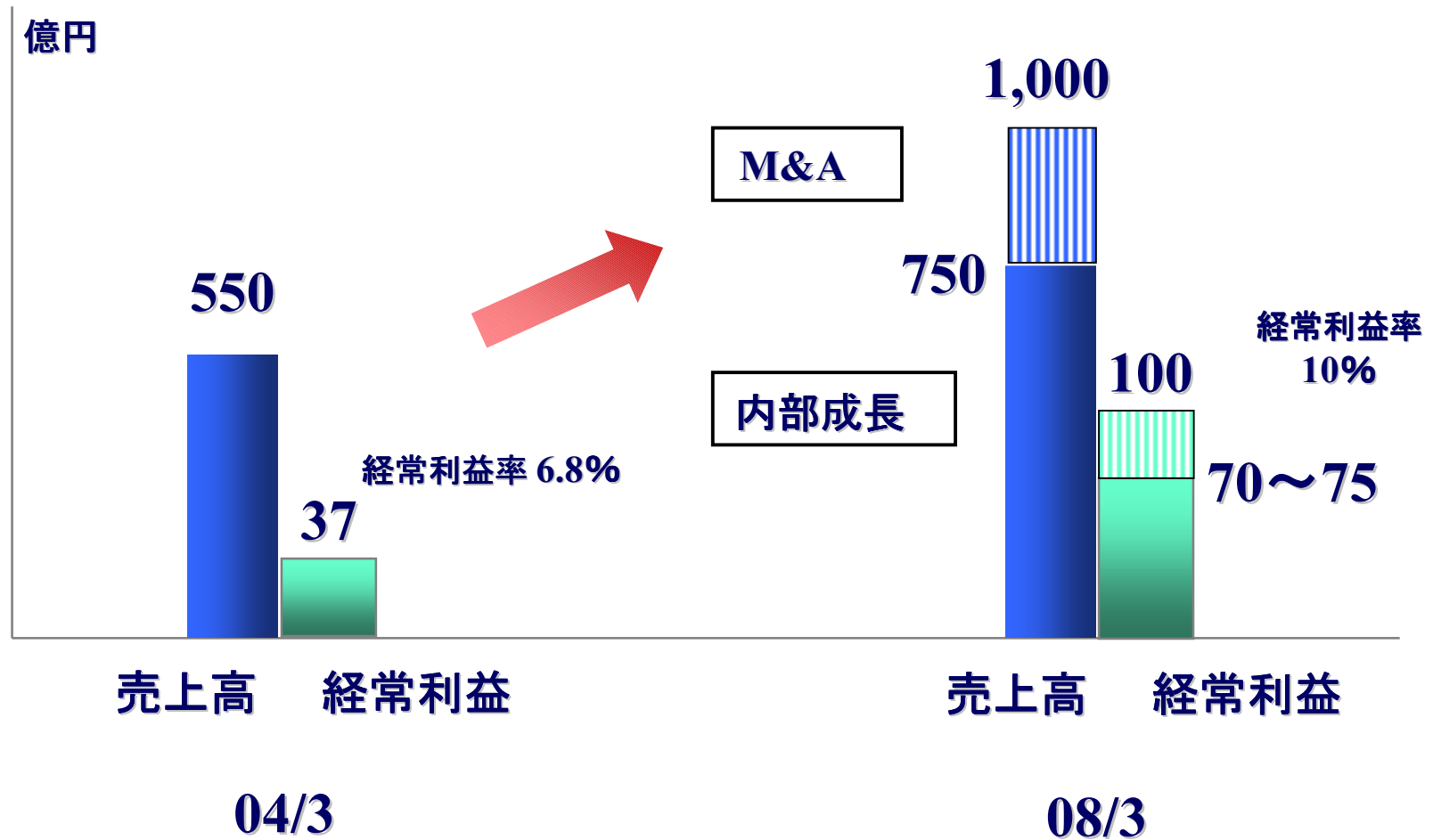


# 事業別売上総利益(連結)

		対前期	売上総利益率	売上総利益額順位
ビジネス	情報処理サービス	▲	○	①
	ソフトウェア開発	▲	△	②
	システム販売	▲	△	④
サイエンス	科学・工学系	▲	◎	③
売上総利益(平均)		▲	<b>16.7%</b>	

## 2. 2005年3月期の見通し

# 中長期ビジョン



- 強い分野をさらに強く = 「強い分野」に経営資源を集中
  - ① 流通分野
  - ② アウトソーシングビジネス
- 品質・生産性向上、コスト競争力強化
- M&Aを積極的に推進

## 外部環境

- 企業は依然として情報化投資を抑制
- 景気回復の兆し
  - ➡ 流通・小売分野を中心としてIT投資にも復活の兆し
- 本業に経営資源を集中し、本業以外はアウトソースする流れ

## 競合環境

- 価格競争が依然続く
- 案件の小型化、納期・開発期間の短縮化
- テーラーメイド型からパッケージを活用したソリューションへの移行加速

# 2005年3月期 経営基本方針

- 「売上高1,000億円、経常利益100億円」の「中長期ビジョン」達成に向けて2005年、2006年に飛躍
- 2004年はそのための諸施策を実行する年



# 2005年3月期 経営計画(連結)

(単位:百万円、%)

<連結>	04/3期	百分比	05/3期	百分比	前年増減比
売上高	55,028	100.0	60,000	100.0	9.0
売上総利益	9,166	16.7	9,600	16.0	4.7
営業利益	3,447	6.3	3,800	6.3	10.2
経常利益	3,716	6.8	4,000	6.7	7.6
当期純利益	2,186	4.0	2,200	3.7	0.6
設備投資総額	428		1,300		

# 2005年3月期 重点施策

データセンタービジネスモデルの  
転換

CRC版ERP基盤コンポーネント  
「DREAMER」の開発・営業展開

ブロードバンド時代の  
店舗システムの開発

中国市場への本格参入

「品質・生産性向上センター」、  
「オブジェクト工房」の強化・拡充

「中長期ビジョン」、「中長期経営  
基本戦略」上の狙い

- インターネット時代における「アウトソーサー」としての地盤固め、収益力向上
- ブロードバンド時代、国際化を見据えた「流通」に強いSIerへの脱皮
- SI案件における顧客ニーズへの即応、開発効率化、高品質化、収益力向上

内部成長による売上高750億円、  
経常利益率10%への道程

## ☆データセンタービジネスモデルの転換

### ○ 大手町インターネットデータセンター(OiDC)

黒字化達成 → 高付加価値ビジネスモデルへ転換

### ○ 横浜・神戸コンピュータセンター

メインフレーム系コンピュータセンター  
→ インターネット系データセンターへ衣替え

## 重点施策(2)

### ☆CRC版基盤コンポーネント「DREAMER」の 開発・営業展開

- 会計モジュールの開発完了 ➡ リリースへ
- 経営情報、営業管理、人事給与各モジュールの開発開始
- 本格的マーケティング・営業活動の開始
- 「DREAMER」を活用したSIビジネスモデル化

# 重点施策(3)

## ☆ブロードバンド時代の店舗システムの開発

- ブロードバンドを活用した24時間365日型店舗システムの開発
- 多店舗展開小売業向けSI案件の受注活動


# 重点施策(4)

## ☆中国市場への本格参入

- CIS 世紀智能軟件有限公司(北京)

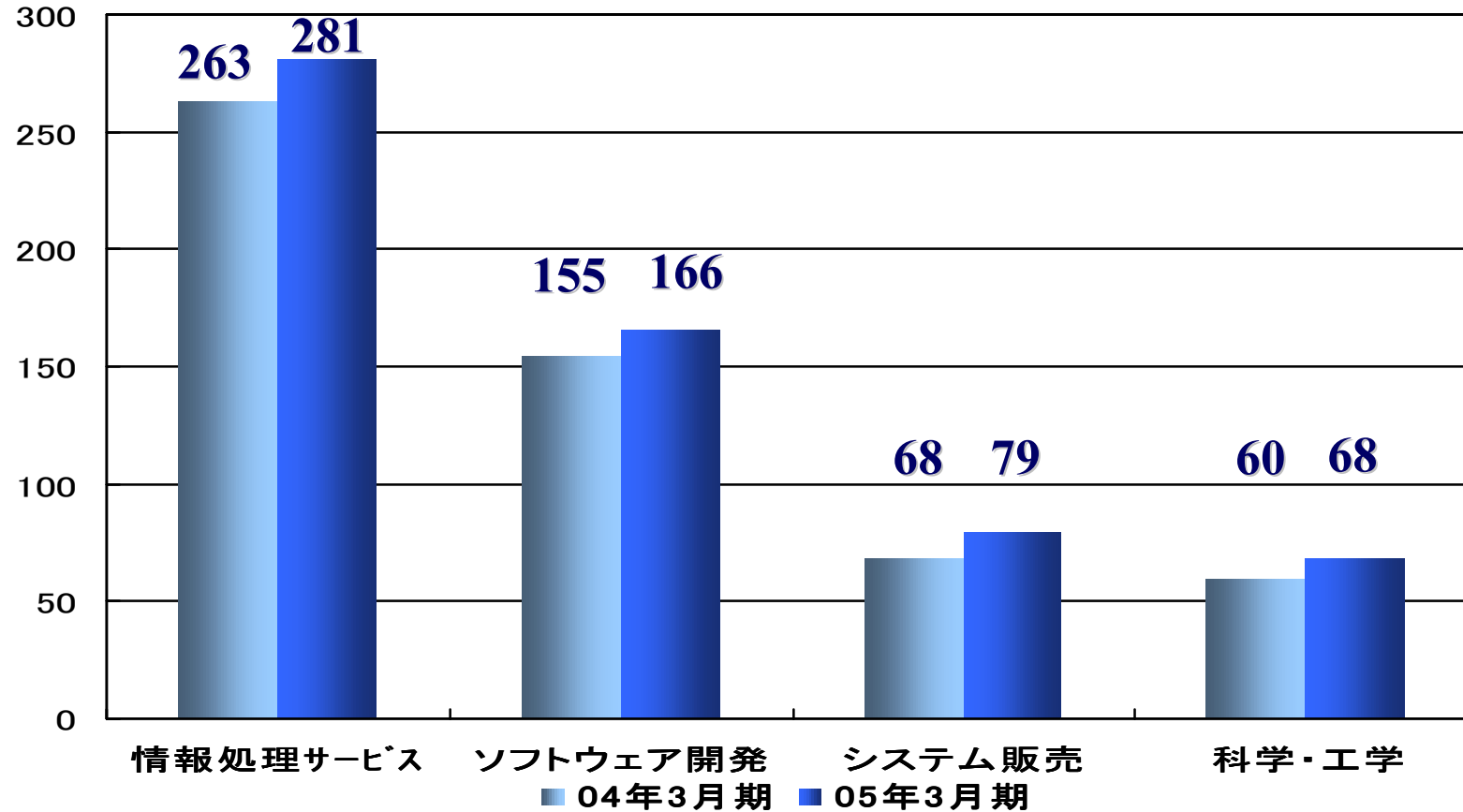
対日開発拠点  中国市場での日系企業向け  
SIビジネス拠点へのシフト

- ARI 精藤股分有限公司(台北)

台湾における受託開発、アウトソーシング事業  
 中国本土でのビジネス展開

# 事業別売上高の増減見通し(連結)

(億円)



ご参考： 単体の状況



# 2004年3月期決算の概要(単体)

(単位:百万円、%)

<単体>	03/03	百分比	04/03	百分比	前期比	期初計画
売上高	44,726	100.0	44,145	100.0	1.3	46,200
売上総利益	6,652	14.9	5,819	13.2	12.5	7,000
営業利益	2,414	5.4	1,908	4.3	20.9	2,560
経常利益	2,691	6.0	2,281	5.2	15.2	2,800
当期利益	1,440	3.2	1,479	3.4	2.7	1,600
受注高	43,256		43,487		0.5	
受注残	4,128		3,470		15.9	

# 2005年3月期決算の計画(単体)

(単位:百万円、%)

<単体>	04/3期	百分比	05/3期	百分比	前年増減比
売上高	44,145	100.0	41,000	100.0	7.1
売上総利益	5,819	13.2	6,000	14.6	3.1
営業利益	1,908	4.3	2,000	4.9	4.8
経常利益	2,281	5.2	2,300	5.6	0.8
当期純利益	1,479	3.4	1,400	3.4	5.3

2004年3月期

# 決算説明会



2004年 4月 30日

株式会社 CRCソリューションズ